

# 分化誘導ペプチドW9

## Differentiation inducing peptide W9

W9ペプチド(WP9QY)は、9個のアミノ酸から構成される環状ペプチドです。W9ペプチドは、破骨細胞形成抑制作用を持つことが既に報告されていますが、骨形成作用及び軟骨修復作用を有することが見出されました。マウス骨芽前駆細胞MC3T3-E1細胞にW9ペプチドを添加することにより、ALP活性亢進や石灰化を誘導できますので、バイオアッセイにそのまま使用することができます。

製品名	製品番号	サイズ	価格(税込)
分化誘導ペプチドW9	47025000	1 mg × 2	¥33,000

※バルク注文については営業所、ホームページまでお問い合わせください。  
※本品は研究用試薬であり、医薬品ではございません。

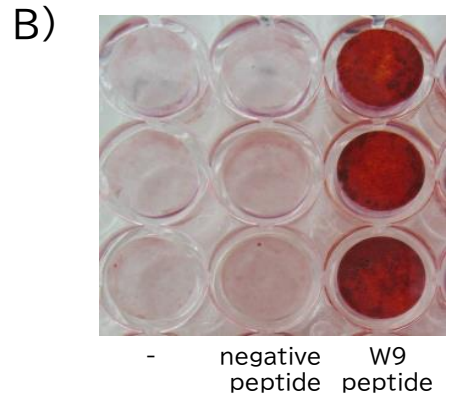
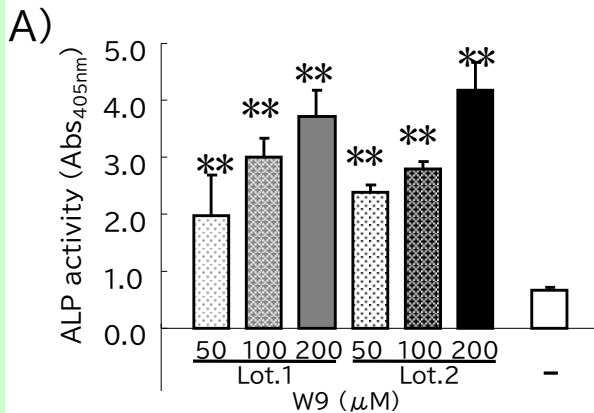
### 製品仕様

#### 分化誘導ペプチドW9

製品形態	: ペプチド溶液
溶媒	: PBS (-)
保存条件	: 冷凍 (-70℃以下)
濃度	: 10 mg/mL 以上
品質規格	: MC3T3-E1細胞でのALPを確認
エンドキシンレベル	: < 0.1 EU/μg
容量	: 1 mg × 2

※本製品はロット毎に製品仕様項目を品質確認済みです





MC3T3-E1細胞を播種後、コンフルエント状態でW9ペプチドを添加した。120時間培養後にアセトン・エタノール固定を行い、PNPP溶液を添加した。経時的にALP活性をAbs405nmにて測定した。  
 \*\*:  $p < 0.01$  vs. control (Dunnett's test)

MC3T3-E1細胞を播種後、コンフルエント状態でW9ペプチドを添加した。3-4日毎に培地交換を行い、3週間培養を行った。ホルマリン固定後にアリザリンレッド染色を行った。



ウサギ軟骨欠損モデル(JW 25週齢)にコラーゲン基材を埋め込み、W9ペプチド溶液を週1回で5mg関節腔投与した。2週間投与後に剖検を行い、組織を固定後にスライドを製作した。

## 参考文献

1. Takasaki W, et al. Nature Biotech. (1997) 15, 1266-1270.
2. Aoki K, et al. J Clinical Invest. (2006) 116, 1525-1534.
3. 特許出願 WO2008/150025, WO2010/038610

## お客様窓口

お問い合わせやご注文は下記からお願いいたします。

Webサイト: <https://www.oyc.co.jp/bio/>

製品に関するお問い合わせ: バイオ事業本部  
 Tel 03-3968-1192  
 Fax 03-3968-4863

Webサイトは  
 こちらから!



## 営業部及び販売会社

東日本バイオ営業部	Tel 03-3968-1163
東日本バイオ営業部 札幌支所	Tel 011-261-6591
東日本バイオ営業部 つくば支所	Tel 029-858-0115
西日本バイオ営業部	Tel 06-6338-1095
(株)オリエンタルバイオサービス	Tel 075-322-1177
(株)ケービーティーオリエンタル	Tel 0942-81-2400

Fax 03-3968-1196
Fax 011-222-0755
Fax 029-858-2931
Fax 06-6384-7692
Fax 075-322-0232
Fax 0942-81-2401